

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



京都府内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(協同基地等警備訓練)

陸上自衛隊の部隊が航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾は使用しません(空包は使用いたします。)

【期 間】令和7年10月20日(月)～31日(金) ※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊:第7普通科連隊(福知山) 約170名(車両 約50両)
第3飛行隊(八尾) 約 4名(UH-1ヘリコプター1機)※夜間は飛行しません。
第3偵察戦闘大隊(今津) 約 50名(車両 約20両)※16MCVを含みます。(予定)
第3高射特科大隊(姫路) 約 20名(車両 約10両)※短SAMを含みます。
第3施設大隊(大久保) 約 30名(車両 約15両)※大型車両を含みます。
第3通信大隊(千僧) 約 5名(車両 約2両)
航空自衛隊:第35警戒隊 約 50名

訓練予定場所



訓練イメージ



京都府内で実施を検討している訓練内容

①陸上作戦(通信訓練及び偵察訓練)

陸上自衛隊の部隊が日本海沿岸部に展開し、各部隊による通信訓練及び偵察訓練を実施します。なお、実弾及び空包は使用しません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～31日(金) ※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊:第7普通科連隊(福知山) 約 70名(車両 約10両)

第3偵察戦闘大隊(今津) 約 80名(車両 約30両)※16MCVを含みます。(予定)

第3飛行隊(八尾) 約 4名(UH-1ヘリコプター 1機)※夜間は飛行しません。

第3通信大隊(千僧) 約 30名(車両 約10両)

訓練予定場所

【凡例】

— : 訓練場所(自衛隊のみ)

— : ヘリコプター飛行経路



訓練イメージ

